

Show Get-key

しょうげき～衝撃～

第58期第1四半期 事業報告書 2004年4月1日から2004年6月30日まで

オートバックスセブン
株主通信

Vol.8



ごあいさつ

第58期第1四半期のご報告

業態紹介

オートバックス
走り屋天国セコハン市場

オートバックス
グループのエコアクション

地球と地域に調和したカーライフの創造を目指して

ARTA活動報告

「ARTA Garaiya」GT300クラス初優勝

トピックス

2004年4月 中国に初の店舗をオープン

4月27日、中国第1号店となる「澳德巴克斯(オートバックス) 莘庄(シンザン)店」を上海市にオープンしました。中国最大級の売場を備えたカー用品店では「トータルカーライフサポート」をキーワードに、幅広い品揃えと充実したピットサービスを提供。日本式の丁寧な提案型接客とあわせて「分かりやすい」「買い物が楽しい」と現地のお客さまにも好評をいただいています。経済の発展とともに急速なモータリゼーションが進んでいる中国には、2005年に上海2号店の出店を予定しているほか、将来的にはフランチャイズによる多店舗展開も視野に入れています。



2004年6月 2輪+4輪複合型実験店をオープン

オートバックスグループは、2輪用品の大型専門店「ライコランド TOKYO BAY 東雲」を東京都江東区に出店しました。同店は「スーパーオートバックス TOKYO BAY 東雲」に隣接しており、4輪車と2輪車、両方の楽しみを提案する店舗になっています。店内にはマフラーやタイヤなどの部品をはじめ、お手入れ用品や盗難防止グッズなど、豊富な商品をラインナップ。また8台分設置したピットは、ウェイティングコーナーから作業状況を見ることができるようガラス張りになっています。今後は車検整備の充実や中古バイク販売なども視野にいたれた展開を予定しており、「スーパーオートバックス」店舗に隣接させるなどして既存のオートバックスグループ店舗との相乗効果をあげていく考えです。

目次

- | | |
|----------------------------------|----------------------------|
| 1 ● トピックス | 11 ● 株式情報 |
| 2 ● ごあいさつ | 12 ● 会社情報 |
| 3 ● ショーケース
オートバックス走り屋天国セコハン市場 | 13 ● ARTA 活動報告 |
| 5 ● オートバックスグループのエコアクション | 14 ● オートバックスグループホームページのご紹介 |
| 7 ● 財務報告 | |

ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

オートボックス株主通信「Show Get-key」のVol. 8をお届けいたします。今号では、第58期の第1四半期の財務状況についてのご報告とともに、連載企画として「オートボックス走り屋天国セコハン市場」の業態紹介なども掲載しております。オートボックスグループへの理解を深めるきっかけとさせていただければ幸いです。

成長のための基盤作り

現在オートボックスグループでは中・長期的な成長を果たすための基盤作りに取り組んでおり、前号でご説明させていただきました中期事業戦略を着々と進めています。

現在の主戦場である国内カー用品市場は、緩やかながらも縮小してきています。このような局面においても持続的な成長を実現するためには、事業の構造を変革することが必要と考え、中期事業戦略を策定しました。ここ数年のオートボックスグループの事業活動におけるガイドラインとなる中期事業戦略には、既存のカー用品を中心とした店舗の強化と新たな展開が含まれています。これを忠実に推進することがオートボックスグループの発展を支え、株主の皆さまの期待に応えるためには不可欠であると認識しています。

現在は、期初に策定した中期事業戦略の展開をより具体化させると同時に、従来から引き続き行っている施策も活発に推進していきます。この一環として当第1四半期には中国への進出を果たし、第1号店を上海市にオープンしたほか、東京の「スーパーオートボックスTOKYO BAY東雲」横に、2輪用品の大型専門店「ライコランドTOKYO BAY東雲」をオープンさせました。

私たちは中期事業戦略の徹底ならびに着実な実行が、将来に渡る成長とオートボックスグループの目指す「トータルカーライフサポート業」への進化を可能にするものと考えています。株主の皆さまには、今後も発展していくオートボックスグループへの変わらぬご厚情とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2004年9月

住野 公一

住野公一

代表取締役 CEO



オートボックス走り屋天国セコハン市場

「オートボックス走り屋天国セコハン市場」は、中古カー用品販売・買取の専門店です。500店舗を超える全国のオートボックスグループ店舗で下取りした中古カー用品や、メーカーからのアウトレット商品などを多数取り揃えています。2000年に神奈川県藤沢市へ第1号店をオープンして以降、オートボックスグループ店舗をご利用のお客さまの買換えニーズにお応えするとともに、近年のリサイクルブームに後押しされて2004年8月末現在で日本国内24店舗とその数を伸ばしています。

全国の店舗から下取りを中心に集められた商品には、売れ筋のカーナビゲーションをはじめとして、カーオーディオやアルミホイール、マフラーなど、人気のカー用品が所せましと並んでいます。

あなただけの一点ものを「宝探し」

「オートボックス走り屋天国セコハン市場」の店内には、様々な車種に対応したカー用品と、カスタマイズやドレスアップ用のパーツを取り揃えています。お客さまはその中から、ご自分の車とニーズにあった商品を探し出します。多くが中古品であるため一点ものが多く、探していた商品を見つけたり、意外な掘り出し物に出会ったりと楽しい「宝探し」の時間を過ごしていただけます。



カスタマイズもドレスアップも

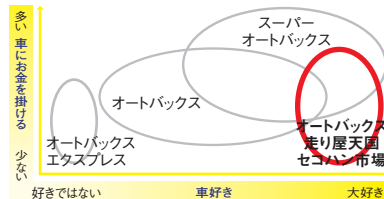
中古カー用品店をご利用になるお客さまは、車好きで、ご自分の車に手を加えて自分だけの一台にしようという方が多くいらっしゃいます。「オートボックス走り屋天国セコハン市場」のスタッフは、それぞれにこだわりをお持ちのお客さまのマニアックなニーズや質問にも応じ、さらにはご提案もできるような日々商品知識の習得に努めています。店舗に併設されたピットではお客さまとスタッフとが相談しながら作業を行い、理想の車づくりをお手伝いしています。



オートバックスグループは、オートバックス／スーパーオートバックス(Type I / Type II)／オートバックス走り屋天国セコハン市場／オートバックスエクスプレスなど、複数の業態を展開しています。お客さまのカーライフシーンをより豊かにするためにそれぞれの業態の連携を活かして、多種多様に広がる様々なニーズに応える体制づくりを進めています。

このコーナーでは、皆さまに新しいカーライフスタイルの創造者として進化を続けるオートバックスグループへの理解を深めていただけるよう、主要業態の特徴や位置付け・役割などをご紹介します。第二回目は「オートバックス走り屋天国セコハン市場」です。

業態マトリックス



担当オフィサーより



森本 眞臣
オフィサー
U-PARTS 事業部長

「オートバックス走り屋天国セコハン市場」は当初、オートバックスグループ店舗で新品のカー用品を購入されるお客さまから下取りした商品と、店舗の統廃合に伴って閉店した店舗物件の両方を有効活用できる業態としてスタートしました。現在でもこの二つは変わりませんが、加えてグループが「トータルカーライフ事業戦略」と「エアロミナント戦略」を推進する中で、より大きな意味を持つようになってきています。

グループの他の業態で取り扱う新品カー用品よりも安く、同等もしくは近い機能性のある商品を提供しています。つまり他のグループ店舗とは競合せず、別々のニーズを持ったお客さまをそれぞれに取り込み、補完関係を築くことができます。来店されるお客さまの目的も他のグループ店舗とは異

なっており、「オートバックス走り屋天国セコハン市場」を利用されるお客さまは、商品の機能と価格を見比べてご自身のニーズや好みにあった商品を探し、車のカスタマイズやドレスアップを楽しむ方が多いようです。将来的には「オートバックス」や「スーパーオートバックス」との連携を強化し、双方のお客さまのニーズやご予算に合わせて、順次他業態へもご案内できるような体制を確立していくことを考えています。

中古カー用品市場は、カーエレクトロニクス製品の高性能化と頻繁なモデルチェンジなどの影響もあり急成長しています。2004年8月現在の店舗数は24店舗ですが、店舗網整備の進行に合わせて、今期下期からは出店数を増やしていく予定です。お近くの店舗にて、楽しい「宝探し」をぜひご体感ください。

標準フォーマット

商圈	半径5~10km
商圈人口	30万人~60万人
売場面積	100~150坪
ピット	2~4台



オートバックスグループのエコアクション

～地球と地域に調和したカーライフの創造を目指して～

私たちの暮らす地球、その将来を守ることは、私たちの子供を守り育てていくことと同様に大切な問題です。自動車関連の事業を行うオートバックスグループは環境対策に取り組むことの重要性を認識し、企業としての社会的な責任を果たしていくために、早くから環境への影響を軽減する取り組みを行っています。その範囲は本社および各事業所での再生紙使用から、店舗における廃棄物の適正処理、店頭での啓発活動まで多岐に渡っています。



店舗 廃棄物のリサイクル・適正処理

店舗のピット作業では、使用済み部品などの廃棄物が発生します。これらの多くは金属やプラスチック、ゴム製品で、オートバックスグループでは、関係する法令に従ってリサイクルを中心とした適正処理を行っています。

また適正処理を徹底するため、マニュアルを作成して各店舗に配布しています。マニュアルの活用によって、従業員が廃棄物と法令に関する正しい知識を共有し、日々の作業の中で確実に実行する体制をとっています。

本社／その他事業所

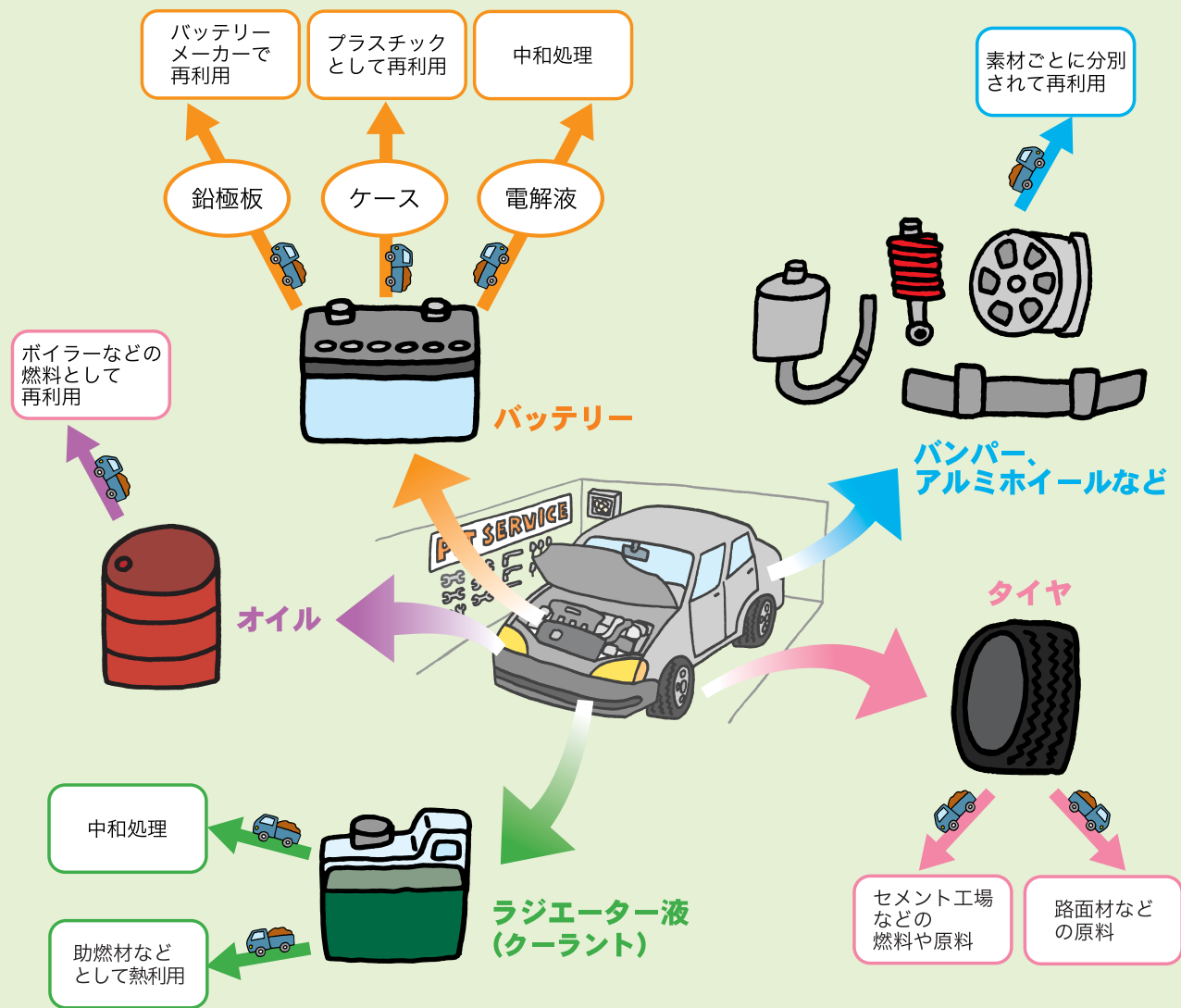
オートバックスグループでは、この他にも地球と地域に調和したカーライフの創造を目指して、さまざまな活動を行っています。

- ・本社における再生(白色度低減)コピー用紙の使用
- ・東日本ロジスティクスセンターにおける梱包資材の削減
- ・各店舗に対する環境関連情報の提供
(環境配慮型商品／リサイクル／関係法令など)
- ・富士山麓清掃活動への参加
- ・その他優良環境保護団体への賛助など



「24時間テレビ」とNPO「富士山クラブ」が行った、富士山麓の樹海清掃活動に参加

店舗でのリサイクルと適正処理



財務報告

連結貸借対照表

単位：百万円

	第57期第1四半期 (平成15年6月30日現在)	第58期第1四半期 (平成16年6月30日現在)	第57期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	81,085	95,603	94,358
現金及び預金	18,271	38,170	41,316
受取手形及び売掛金	16,839	16,881	12,456
有価証券	8,707	3,747	4,776
たな卸資産	19,582	20,298	18,731
繰延税金資産	2,682	2,271	2,195
未収入金	12,415	11,803	13,372
その他	4,644	3,330	2,659
貸倒引当金	△2,057	△899	△1,149
固定資産	108,427	109,611	108,402
有形固定資産	59,603	59,572	60,294
建物及び構築物	26,077	26,650	26,561
土地	24,996	25,449	26,064
その他	8,529	7,471	7,668
無形固定資産	2,578	3,223	3,079
投資その他の資産	46,245	46,815	45,028
投資有価証券	13,991	13,928	12,277
長期貸付金及び長期差入保証金	29,039	28,277	28,054
繰延税金資産	2,636	4,708	4,782
その他	2,018	1,984	1,687
貸倒引当金	△1,440	△2,081	△1,773
資産合計	189,512	205,214	202,760
(負債の部)			
流動負債	33,757	35,516	33,684
支払手形及び買掛金	18,432	19,265	14,136
短期借入金	1,928	1,918	2,130
未払法人税等	1,590	1,296	3,525
その他	11,806	13,035	13,891
固定負債	11,327	21,182	20,835
社債	8	8	8
転換社債型新株予約権付社債	—	10,000	10,000
長期借入金	2,513	1,728	1,680
退職給付引当金	1,297	1,407	1,394
役員退職給与引当金	233	119	159
連結調整勘定	21	—	—
その他	7,253	7,918	7,592
負債合計	45,084	56,698	54,519
(少数株主持分)			
少数株主持分	493	687	708
(資本の部)			
資本金	31,958	31,958	31,958
資本剰余金	32,241	32,241	32,241
利益剰余金	84,320	88,766	88,651
その他有価証券評価差額金	29	282	192
為替換算調整勘定	△228	△309	△400
自己株式	△4,387	△5,111	△5,111
資本合計	143,935	147,827	147,532
負債、少数株主持分及び資本合計	189,512	205,214	202,760

連結損益計算書

単位：百万円

	第57期 第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)	第58期 第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	第57期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
売上高	57,200	56,711	227,077
売上原価	41,394	40,884	159,271
販売費及び一般管理費	14,587	14,573	61,595
営業利益	1,217	1,253	6,210
営業外収益	1,500	1,984	7,009
営業外費用	759	1,044	2,738
経常利益	1,958	2,193	10,480
特別利益	—	—	1,283
特別損失	—	186	2,137
税金等調整前当期純利益	1,958	2,006	9,626
法人税、住民税及び事業税	1,541	1,241	5,948
法人税等調整額	△21	△43	△1,764
少数株主損失	14	18	1
当期純利益	452	826	5,443

- 注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 36,884百万円
2. 1株当たり当期純利益 23円30銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	第57期 第1四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)	第58期 第1四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	第57期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	238	△684	13,807
税金等調整前当期純利益	1,958	2,006	9,626
減価償却費	1,369	1,290	5,798
売上債権の増減額(増加：△)	△3,591	△2,852	△219
たな卸資産の増減額(増加：△)	△1,835	△1,571	△1,022
その他	4,475	3,753	3,660
小計	2,376	2,626	17,843
利息及び配当金の受取額	196	188	827
利息の支払額	△39	△29	△97
法人税等の支払額	△2,294	△3,470	△4,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,041	△1,545	△645
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,830	△1,728	△7,894
有価証券及び投資有価証券の取得・売却	△806	△542	5,423
その他	594	725	1,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,622	△860	4,605
短期借入金の増減額(減少：△)	△1,219	△326	△1,509
長期借入による収入	133	120	686
長期借入金の返済による支出	△104	—	△972
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	—	10,000
自己株式取得による支出	△1,791	△1	△2,503
配当金の支払額	△659	△638	△1,303
その他	18	△14	207
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△26	△37
現金及び現金同等物の増減額	△5,419	△3,117	17,730
現金及び現金同等物の期首残高	23,437	41,155	23,437
連結子会社除外に伴う現金及び現金同等物減少額	△12	—	△12
現金及び現金同等物の期末残高	18,005	38,037	41,155

貸借対照表(単体)

単位:百万円

	第57期 第1四半期 (平成15年6月30日現在)	第58期 第1四半期 (平成16年6月30日現在)	第57期 (平成16年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	76,951	90,326	88,783
現金及び預金	14,652	33,990	36,673
受取手形及び売掛金	21,149	21,755	16,090
有価証券	8,707	3,747	4,776
たな御資産	8,411	8,080	8,005
繰延税金資産	1,592	1,087	1,325
未収入金	11,931	11,198	12,708
短期貸付金	11,052	10,490	9,846
その他	1,998	1,441	1,047
貸倒引当金	△2,544	△1,465	△1,690
固定資産	112,081	113,545	110,471
有形固定資産	49,586	49,239	49,404
建物	20,269	21,028	20,748
土地	22,932	22,852	23,020
その他	6,384	5,358	5,635
無形固定資産	3,021	2,618	2,657
投資その他の資産	59,473	61,686	58,408
投資有価証券	12,222	12,502	10,780
長期貸付金及び長期差入保証金	35,667	37,412	36,321
繰延税金資産	4,026	6,277	6,360
その他	10,987	12,710	11,844
投資損失引当金	△908	△2,329	△2,329
貸倒引当金	△2,521	△4,887	△4,569
資産合計	189,033	203,871	199,254
(負債の部)			
流動負債	32,559	33,340	30,738
買掛金	17,196	18,131	12,764
短期借入金	681	—	—
未払法人税等	1,478	1,095	3,180
その他	13,203	14,202	14,793
固定負債	8,882	19,097	18,642
転換社債型新株予約権付社債	—	10,000	10,000
退職給付引当金	884	908	905
役員退職給与引当金	192	119	119
その他	7,804	8,070	7,617
負債合計	41,441	52,527	49,380
(資本の部)			
資本金	31,958	31,958	31,958
資本剰余金(資本準備金)	32,241	32,241	32,241
利益剰余金(利益準備金+その他の剰余金)	87,708	91,942	90,562
利益準備金	1,296	1,296	1,296
任意積立金	82,131	85,981	82,131
当期末処分利益	4,280	4,664	7,133
その他有価証券評価差額金	51	282	192
自己株式	△4,368	△5,081	△5,080
資本合計	147,591	151,343	149,874
負債及び資本合計	189,033	203,871	199,254

損益計算書(単体)








単位：百万円

	第57期 第1 四半期 (自平成15年4月1日 至平成15年6月30日)	第58期 第1 四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年6月30日)	第57期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
売上高	52,612	51,416	199,490
売上原価	42,415	41,702	158,048
販売費及び一般管理費	8,050	7,543	34,311
営業利益	2,146	2,170	7,130
営業外収益	1,482	1,673	6,370
営業外費用	227	451	1,270
経常利益	3,401	3,391	12,230
特別利益	—	—	1,180
特別損失	—	—	4,719
税引前当期純利益	3,401	3,391	8,692
法人税、住民税及び事業税	1,425	1,041	5,383
法人税等調整額	411	257	△1,753
当期純利益	1,565	2,092	5,062
前期繰越利益	2,714	2,571	2,714
中間配当額	—	—	643
当期末処分利益	4,280	4,664	7,133

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 当期 27,213百万円
2. 一株当り当期純利益 58円96銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

業態別店舗数

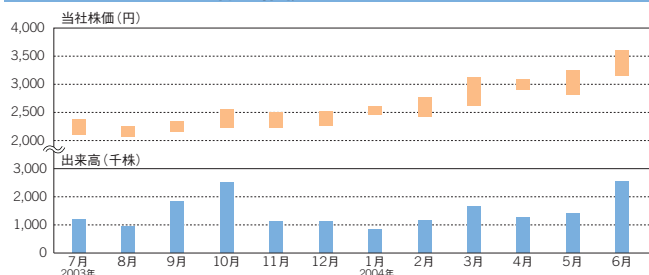
	第57期 第1 四半期 (平成15年6月30日現在)	第58期 第1 四半期 (平成16年6月30日現在)	第57期 (平成16年3月31日現在)
スーパーオートバックス:	45	57	54
 Type I	5	6	6
 Type II	40	51	48
 オートバックス	432	417	421
 オートハローズ	16	16	16
 オートバックスエクスプレス	3	4	4
 オートバックス走り屋天国セコハン市場	19	24	22
 オートバックス・カーズ*	14	16	16
海外(スーパーオートバックス、オートバックス)	10	12	11
合計	539	546	544

* オートバックス・カーズについては、カーズ端末(中古車情報の検索端末)のみを設置している店舗は含んでおりません。

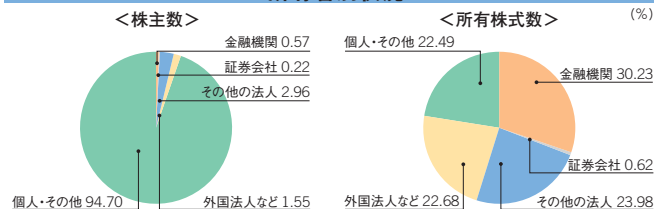
株式情報 (2004年3月31日現在)

発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	37,643,742株
株主数	12,078名
決算日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日
	利益配当金 3月31日
	中間配当金 9月30日
	なお臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。
1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞 ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、 http://www.autobacs.co.jp/ において提供いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所、ロンドン証券取引所
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
名義書換事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	東京都府中市日鋼町1番10(〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
住所変更等用紙のご請求	0120-175-417
その他のご照会	0120-176-417
名義書換取次所	住友信託銀行株式会社、本店および全国各支店
大株主一覧	有限会社スミノホールディングス 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 株式会社オートバックスセブン 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 住野 正男 住野 公一 シテイトラスト(スイス)リミテッドアズエージェント オプシテイトラスト(ケイマン)リミテッド 資産管理サービス信託銀行株式会社 (年金特金口)

株価推移(大阪証券取引所)



所有者別状況



住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願い致します。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行(株)の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

株主優待制度について

『オートバックス』、『スーパーオートバックス』などで、1,000円(消費税込み)のご利用につき1枚お使いいただける株主優待券(300円割引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている株主の皆さまにお送りしています。

ご参考

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株～999株 ご優待券25枚
1,000株～ ご優待券50枚
- 優待券は日本国内のオートバックス、スーパーオートバックス、オートバックス走り屋天国セコハン市場、オートバックスエクスプレスおよびオートハロースの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートバックス・カーズ、海外店舗ではご利用いただけません。
- 優待券は燃料、車両、保険、税金、飲食、タバコ、特價商品などにはご利用いただけません。
※車検につきましては、税金、重量税、印紙代、自賠責保険料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけません。(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります。)
- 優待券は現金およびオートバックスの商品券によるお買い上げ時にご利用いただけます。

会社情報 (2004年9月30日現在)

商号	株式会社オートバックスセブン (AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)
創業	1947年2月
資本金	319億5千8百万円

主な事業内容 当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店と並行して全国にチェーン展開しております。

役員一覧^{*1}

取締役兼 オフィサー

代表取締役

住野 公一 CEO

取締役

井手 秀博 財務基盤整備担当

住野 耕三 新規事業担当

住野 泰士 国内店舗子会社担当

経森 康弘 Co-COO

トータルカーライフ事業戦略推進統括

中田 康雄^{*2} (カルビー(株)取締役副社長)

野上 明 COO

松尾 隆 経営戦略推進担当 兼 経営企画管理室長

横井 英昭 人材基盤整備・システム基盤整備担当

湧田 節夫 Co-COO

エリアドミナント戦略推進統括

監査役

小山 勝士 常勤監査役

森野孝太郎^{*3} 常勤監査役

吉田 治邦^{*3} 常勤監査役

久保田達夫^{*3} 監査役

(WL Ross & Co. LLC マネージング・ディレクター
(株)ファーストリテイリング非常勤監査役)

主要な事業所	本社 北日本事業部 北関東事業部 南関東事業部 中部事業部 関西事業部 南日本事業部 海外事業部 C@RS 事業部 U-PARTS 事業部 東日本ロジスティクスセンター 西日本ロジスティクスセンター	(東京都港区) (仙台市泉区) (千葉県市川市) (千葉県市川市) (名古屋市名東区) (大阪府吹田市) (福岡市博多区) (東京都港区) (神戸市中央区) (東京都港区) (千葉県市川市) (兵庫県美囊郡)
---------------	--	---

オフィサー 取締役を除く

伊藤 浩明	北日本事業部長
江本 吉弘	南日本事業部長
釜田 尚文	南関東事業部長
榎 宏介	北関東事業部長
小林喜夫巳	海外事業戦略推進担当 兼 海外事業部長
小平 智志	戦略推進基盤整備担当 兼 ストアサポート企画室長
澤田 和良	車検整備事業担当
志野 修市	中国事業担当
角倉 正親	業態開発事業担当 兼 SA企画開発プロジェクトマネジャー
武田 健一	トータルカーライフ事業戦略推進担当
戸出 譲	中部事業部長
松村 晃行	関西事業部長
深山 義郎	C@RS 事業部長
森本 弘徳	エリアドミナント戦略推進担当
森本 真臣	U-PARTS 事業部長

^{*1} 50音順 (CEO、監査役除く)

^{*2} 印は社外取締役

^{*3} 印は社外監査役

ARTA 活動報告

ARTA (Autobacs Racing Team Aguri) プロジェクト：
世界に通用する日本人ドライバーの育成をスローガンに、オートバックスが支援するモータースポーツ活動。元F1ドライバーの鈴木亜久里さんを中心に、国内外の主要なレースに参戦しています。

プロドライバーへの登竜門

プロドライバーを目指す青少年に将来へつながらるステップアップの場を提供するために、今年度よりカートレース*1の「ARTA チャレンジ」シリーズ*2を、開催しています。8月21～22日に開催された、「2004年ARTAカップカートレース in ツインリンクもてぎ」には、約170名もの選手が参加。夏休みということもあり、選手の家族など多くのギャラリーに見守られながら、熱い戦いを繰り広げました。当日は、鈴木亜久里プロデューサーとARTA所属のプロドライバーたちも参加し、子供たちに負けなほど真剣に、慣れないカートの運転に苦労しながらも華麗なドライビングテクニックを披露しました。

夏休みの一日、憧れの選手と一緒にサーキットを駆けた子供たちは目を輝かせていました。ARTAは、これから「世界に通用する日本人ドライバーの育成」に向けて、日本のモータースポーツの振興と若手ドライバーの支援を続けていきます。

*1 バイブフレームに排気量100cc～125ccのエンジンを搭載したレーシングカートをサーキットで走らせるレース。運転免許証も不要で子供から大人まで、幅広い年齢層が楽しめるのが特徴。数多くのレーシングドライバーが、カートレースからキャリアをスタートさせている。

*2 日本のモータースポーツ界の将来を担い、世界に通用する選手の育成を目指すARTAが、モータースポーツの底辺を広げ、トップドライバーを志す若者たちにチャンスと活躍の場を提供するために2004年よりスタートしたカートレースのシリーズ。

ARTA Garaiya 悲願の初優勝

全日本GT選手権のGT300クラスに参戦している「ARTA Garaiya*」が、7月18日に十勝インターナショナルスピードウェイで開かれた2004年シリーズ第4戦「北海道グランGT選手権レース」で、初優勝を果たしました。参戦初年となった昨年度は年間ランキング第7位、最高位が2位と惜しくも優勝を逃していましたが、今年度はマシンの仕上がりも上々。快音を上げてサーキットを疾駆する姿は、オリジナルの「ASL Garaiya」から受け継いだ美しく力強いスタイリングでファンを魅了しています。昨年に引き続き「ARTA Garaiya」のドライバーを務める新田守男・高木真一両選手は、悲願であった初優勝に、表彰台で歓喜のガッツポーズを見せてくれました。

* オートバックスグループが開発したオリジナルスポーツカー「ASL Garaiya」をベースに、GT選手権のレギュレーションに適合する改造を施した車輛。2003年度より全日本GT選手権のGT300クラスに参戦。

速報

「ARTA Garaiya」は、9月5日にツインリンクもてぎで開催されたシリーズ第5戦「もてぎGTチャンピオンレース」においても、GT300クラス優勝を果たしました。

■ ARTAのウェブサイトでは、レースの結果や今後の予定、ドライバーの紹介などの基本情報に加え、フォトギャラリーではサーキットを疾走するARTAマシンの勇姿もご覧いただけます。
<http://www.autobacs.com/motorsports/>

オートバックスグループ ホームページのご紹介

<http://www.autobacs.co.jp/>



弊社の企業情報サイトです。会社案内、IR情報、ニュースリリースなどを閲覧いただけます。

<http://www.autobacs.co.jp/seven/ir/>



IR専用サイトです。財務情報やIR資料、株価情報、株主情報などを掲載しています。過去のIR刊行物もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

財務ハイライト

IR資料 (月次情報、決算短信、有価証券報告書、アニュアルレポート、ファクトブック、株主通信、決算説明会資料)

株価情報

株主情報 (優待制度、株主メモ、FAQ)

IRに関するFAQ

資料請求

<http://www.autobacs.com/>

オートバックスグループのポータルサイトです。各業態・店舗や、商品、車検・整備などについてご案内しています。

AUTOBACS SEVEN CO., LTD

株式会社 オートバックスセブン

東京都港区三田3-13-16 三田43MTビル 〒108-8307

移転に伴い、10月12日より下記住所になります。

東京都江東区豊洲5-6-52 ISTビル 〒135-8717



植物性インクを使用し、古紙配合率100%の再生紙に、水なし印刷をしています。

